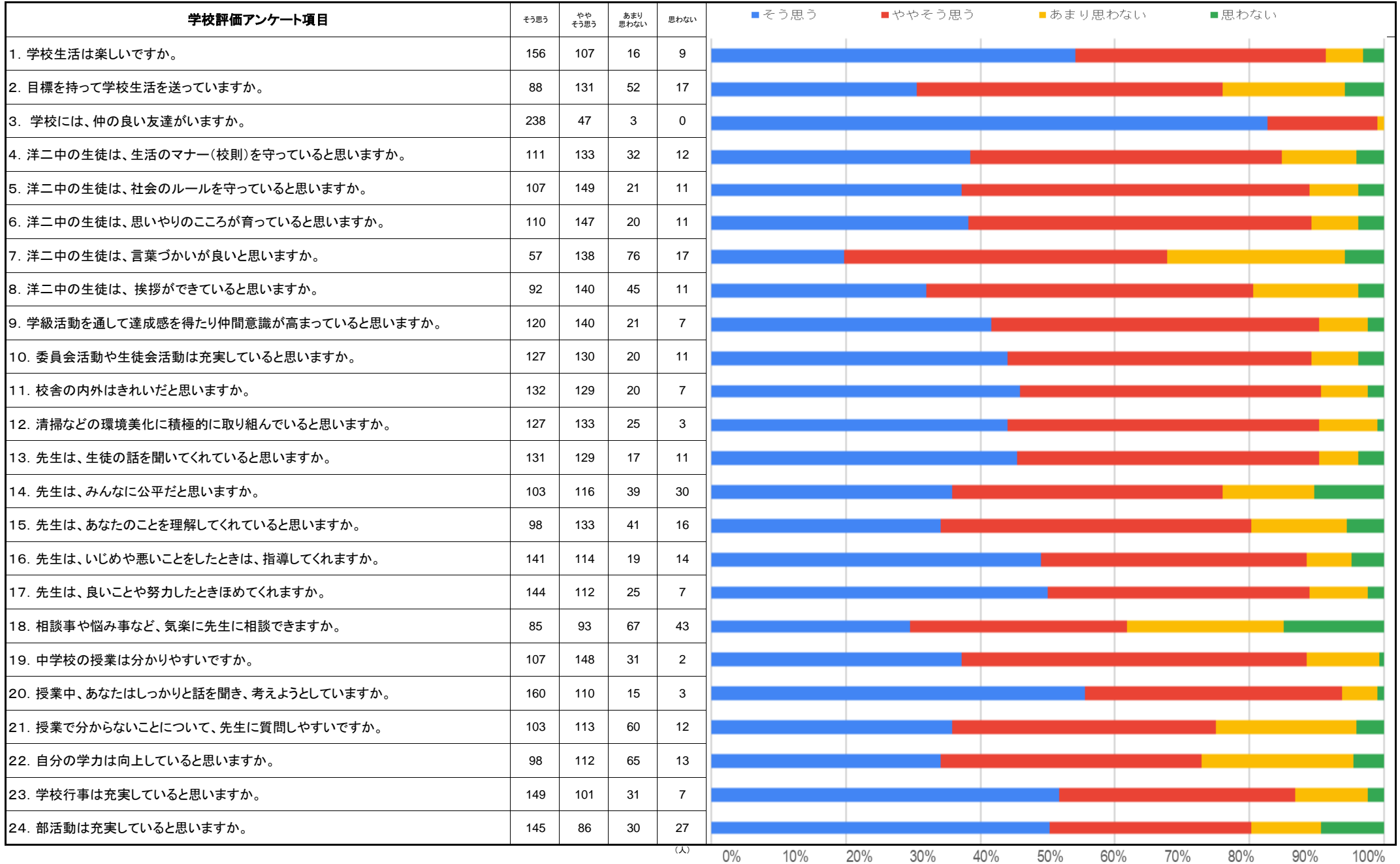


令和3年度学校評価 生徒アンケート集計結果 (回答数:288)



(人)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

<学校評価の振り返り>

【評価の高かった項目】

「1. 学校生活は楽しいですか」

学校生活を楽しく過ごしている様子はアンケートへの回答数だけでなく、日頃の学校生活や学校行事・部活動を通じて感じられます。大変うれしく思う反面、楽しく感じていな子ども達がいることを見過ごすことはできません。来年度は、すべての子どもが学校生活を楽しいと感じられるような教育活動の実現に努めます。

「3. 学校には、仲の良い友達がありますか」

学校生活が楽しいと感じる大きな要因は友人関係です。アンケートへの回答からは良好な友人関係が読み取れます。しかし、日常の学校生活の中では、人間関係のトラブルが生じていることも確かです。深い人間関係を築くことを大切にしながら、すべての仲間が安心して学校生活を送ることができる人間関係づくりにも取り組みます。

「20. 授業中、あなたはしっかりと話を聞き、考えようとしていますか」

授業観察等の機会に授業風景を見ると、どの学年・学級も静かで落ち着いた雰囲気の中で授業が進められています。良好な授業態度を大切にするためにも、授業で学んだ知識を思考力や表現力につなげて「確かな学力」が定着するようにインプットとアウトプットのバランスを考慮した学習活動を進めます。来年度は、授業中の様子を保護者の皆様にもご覧いただけるように、感染症対策を十分に施しながら授業参観を実施したいと考えています。

【評価の低かった項目】

「2. 目標をもって学校生活を送っていますか」

4人に1人が目標を持っていないまま学校生活を送っていると回答しています。2年以上続くコロナ禍で分散登校や授業短縮、また、学校行事の縮小、部活動の活動制限など、様々な要因が目標を見失わせることになった可能性が大きいと感じています。来年度は、すべての子どもが目標をもって学校生活に臨めるように、学校生活・学校行事・部活動などの活動を保証して、目標をもって充実した学校生活を送れるように努めます。

「7. 洋二中の生徒は、言葉づかいが良いと思いますか」

3割以上が言葉づかいに課題があると回答しています。3年生は受験期になると言葉づかいや礼儀作法の大切さを痛感するようです。言葉づかいや礼儀作法は日頃から心掛けることが大切です。私たち大人も子供たちの範となるような言動を心掛ける必要があります。保護者の皆様もご協力よろしくお願いします。

「8. 洋二中の生徒は、挨拶ができていますか」

確かにマスクの影響もあり、挨拶の声が少なくなっているような気がします。挨拶は円満な人間関係づくりやコミュニケーションの入り口です。お互いに積極的なあいさつを心掛けます。笑顔とあいさつがあふれる魅力的な学校づくりを目指します。

「14. 先生は、みんなに公平だと思いますか」

不公平感を持っている子ども達が多くいることを真摯に受け止めます。学級指導・教科指導をはじめとして、生徒会活動・部活動などの課外指導においても、常に公平性・平等性に高い意識をもち一人一人に接することを心掛けていきます。

「15. 先生は、あなたのことを理解してくれていると思いますか」

「そう思う」の回答者数が低い項目のひとつです。生徒・職員の相互理解を深めるため、日常の学校生活を中心として会話を増やしたり、教育相談の時間を有効に活用して改善を図ります。

「18. 相談事や悩み事など、気楽に先生に相談できますか」

今回のアンケートで最も評価が低かった項目です。今回の結果を重く受け止め、あらためてカウンセリングマインドの重要性を確認します。なお、学校には、担任や学年担当だけでなく、養護教諭・スクールカウンセラーやサポート非常勤講師など様々な職員が勤務しています。何か悩みや課題がある場合は、一番話しやすい職員に相談してください。スクールカウンセラーは守秘義務を厳守しますので、相談内容が外部に漏れる心配はありません。

「21. 授業で分からないことについて、先生に質問しやすいですか」

教員は質問しやすい環境や雰囲気づくりを心がけます。生徒の皆さんは、授業後や放課後の時間を使って遠慮なく質問してください。また、今年度立ち上げた放課後学習支援室「あすばら」には大学生や地域のボランティアの方が複数いらっしゃいます。分からないことがあれば、授業の内容に限らず積極的に質問して解消してください。

「22. 自分の学力は向上していると思いますか」

学力を高めるには、授業を大切にすることはもちろんですが、予習・復習などにも取り組む必要があります。ただ、今求められている学力はペーパーテストの結果だけでは測れません。自ら学ぶ機会を設けることや学んだことを発表したり、人に伝える力を養うことも必要になります。また、友達同士で教えあいや学びあいをすることで知識の定着が図れます。

「24. 部活動は充実していると思いますか」

コロナ禍で日常の活動の制限が続き、さらに対外試合の中止や規模縮小で充実した活動の保証ができませんでした。特に、3年生は昨年度・本年度ともに大会や発表会の機会が失われてしまいました。来年度は、中体連・中文連や関係団体と連携して活動の保証に努めたいと考えています。なお、新たな部活動設置の要望は、教員数と生徒数の関係から現状では大変難しい状況です。